

# 徒然草

## 兼好法師

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりに  
退屈であるのにまかせ一日中 硯すずりに



向かいひて、心にうつりゆくよしなし事を、  
むかつて 心にうかんで消えていくとりとめもないことを

まとまりがない事

そこはかたなく書きつくれば、  
あてもなく書いていると

あやしうしゅうこそものぐるほおしけれ。

不思議なことにおかしな気分になる

## 重要語句

つれづれなる↓退屈である。することがない  
よしなし事↓とりとめもない（まとまりがない）事  
あやしう↓不思議なことに  
ものぐるほし↓おかしな気分になる

## 現代仮名遣い

向むひて↓おおかいて  
あやしう↓あやしゅう  
ものぐるほしけれ↓ものぐるおしけれ